

イベント実施者ヒアリング

対象者	1) 石山公園でどのような事業を実施したいか	2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか	3) その他
<p>1</p> <p>公共事業に関わる 一個人 (行政観光系)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市公園→憩い ・ 観光→賑わい <p style="text-align: center;">} どちらを目指すのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・ 市民が活用して生まれる賑わい ← <u>こっち!</u> ・ 外付けで「観光の施設を置く」 ことのできる賑わい <ul style="list-style-type: none"> * 非日常の「賑わい」をどう演出するか * 観光へのアプローチ (マネジメント) は必要だが、「観光の場」にする必要はないのでは？ * 日常の産業 (営み) が生まれる場所 <p>市民・民間の事業者がやりたいことをサポートするのが行政の仕事</p> <p>★重要! まずは「<u>場のブランディング</u>」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可手続きの手間を最小限に (河川事務所、公園協会、地域整備課、警察) ・ 電力 → 30kW × 2 か所 (最大 60kW くらい) ・ トイレ → 管理問題をどうするか課題 (カフェと別か、一体にするか) <p>< 周辺 ></p> <p>今不足している観光の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場 → 岡山城に行きやすくするには ・ 土産物 → 外貨を稼ぐ手段 ・ 案内 → 多言語対応など 	<p>◎パークマネジメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旗振り役が必要 → 方針を明確に ↓ <u>ここに向かっていくぞ!</u> ※色んな意見を参考にするのは重要だが ・ 使う人の意識、場、それぞれを育てていくことが重要
<p>2</p> <p>公共事業に関わる 一個人 (民間事業者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協賛事業 → 民間事業者がやりにくい (民間活力を有効活用するなら) ・ NPO と関わることで、緩衝材となり、出店もセレクト感が出せる ※行政との直接のやり取りだと、しがらみが出やすい ・ イベントがスケジュール化 (パターン化) されてきた時のバランス調整が重要 (色んなテイスト、カテゴリー) ↓ それが公園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請手続きを簡単に → プロセス分かりやすく ※次の手続きに導いてくれる ・ (テントなどを) 設営しやすい設計 (地面に固定できる装置を常設) ※ハードの維持 → フォーマット作成 ↓ <u>イベント用の設営セットを作る</u> ※景観、強度を踏まえ、安く貸出し可能に 	<p>今後、石山公園を開かれた場所にするのであれば、フォーマットが必要。 ※どういう人に開かれた公園にするのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石山公園は「ゲート」 ・ インフォメーションの課題 → 観光ボランティアとの関わり → どう伝えるか

対象者	1) 石山公園でどのような事業を実施したいか	2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか	3) その他
3 MAEMU 企画 下村さん	<p>「おひさまアートバザール」を実施してきた経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートや作家のサポート、ギャラリー情報の発信の場 → 作家のアピールの場 (10年ほど前、5人体制でスタート) ・当初は、出石小学校の場を活用 ↓ 街歩き WS ↓ 石山公園 (作家と買い手のコミュニケーションの場) ・マンネリ化の問題、モチベーション維持 ・時代の変化と共に、役割を終えた感覚 <p>・参加するなら、夜の飲食イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・許可手続きを簡潔に (一元化) ・電力 (電源) の確保 ・搬出入、駐車スペース ・テントの設営のしやすさ (常備されているテントがあると良い) ※有料貸出でも OK ・イスやテーブル ※公園備品として利用できるものがあると良い ・管理者の対応時間が、土日・平日問わず同じ時間帯で対応してもらえると良い ・観光のインフォメーション (特に食) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える (経済効果、宣伝効果) → ネット (SNS) → 現場 <p> ロケーション 新鮮味 → ずっと続ける → 続けることで 日常 新しい良さが生まれる </p> <ul style="list-style-type: none"> ・場をどう使っていくか (続くくみ) <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A((企業)) --- B((場)) B --- C((地域)) B --- D[つなぐ] </pre> </div>
4 ストライプインターナショナル 岡田さん、島本さん	<p>実施イベント：ストライプマルシェ ※回遊性の向上 (芸術交流や街の拠点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石山公園は、公園のロケーション、ポテンシャルが高いので良い ・商店街は、軒先に出店する為気を遣う ・新しいコンテンツにチャレンジしたい (ランドマークとして) ・オープンカフェには興味あり ・人が体験できるもの (WS など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電力 → 30~50kW 程度必要 ※15~20 店舗出店の場合 ・駐車場の確保 (来場者、出店者ともに) ・インフラ整備 ・コンシェルジュの役割をする人が場にいることは重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・石山公園の理想像 → <u>地域にとっての場</u> <p>* 観光の視点は「狙う」というより、おのずと必要である</p> <p>* 地域の人の顔、岡山の特徴が見える場に</p>

対象者	1) 石山公園でどのような事業を実施したいか	2) どのような環境設備が整っていれば、事業を実施しやすいか	3) その他
5 株式会社ビザビ 永末さん	<p>実施イベント：朝ごはんマルシェ、ダイハツ企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝に実施するイベントは良い ・ 水辺に近い場所でもイベントが出来れば (提案の切り口) ・ アルコールの提供は、安全性を確保して出来れば良い <p>◎あしたり岡山 (NPO) ↓ 地域との関わりが強い ※企業 (ビザビ) としては、地域との関わりが弱くなってきている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史探訪 ・ MAP づくり ・ 県庁通りの鉢植え ・ 岡山弁講座 ・ 古墳ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全対策 (川沿いの柵) ※ロケーションが岡山市内で一番良いので、景観を楽しんでもらいたい (食と一緒に) ・ 搬出入のしやすさ (道幅の狭さ解消) ※2 台がすれ違えるくらいに ・ テントは常備 (デザイン性、風対策考慮) ※有料で利用者に貸出できるように ・ 設営しやすいように、事前に足場を作っておく ・ 電力 → 30~50kW 程度必要 ※ももたろう祭りの時は 60kW 必要 ※電源 BOX を何か所かに分けて使いやすく ・ ベンチ ※移動できるもの ・ ゴミ処理 ・ フラットで歩きやすい場所 	<p>日常のまち → <u>人や営みを充実させる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通過点としての場所 ・ 写真を撮る場所 (最高のビューポイント) 「いい場所じゃん！」←発見 <p><u>石山公園は、市民にとって岡山の誇るべき場所として、市民の顔が見えるようなランドマークのような場所で在るのが理想</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周遊を促す案内 (サイン関係) は必要 ・ 地域のインフォメーション機能 <u>「どんなマチにしたいか」</u> <u>というビジョンを共有できることが重要!</u> <p><パークマネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請手続きのしやすさ (一元化) ・ 一般の人が利用しやすいシステム ・ 人がいることで、対応窓口 ※コンシェルジュ機能